

第94期 報告書

2017・04・01 → 2018・03・31

株式会社 よみうりランド

証券コード9671



新アトラクション

ハピビロGO!

3月21日(水祝)オープン

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社グループ第94期（2017年4月1日～2018年3月31日）の事業の概要を取りまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

2018年6月



代表取締役社長

杉山 美邦

営業の概況

事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続きました。当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費については、持ち直しの動きが続くものの、可処分所得の伸び悩みや天候不順の影響などもあり、力強さを欠く状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは積極的な設備投資の実施や営業拠点の拡大、多様なイベントの開催などを通じ、事業の更なる発展に努めてまいりました。

川崎競馬場では、インターネットによる勝馬投票券売上高が増えるなか、競馬場の魅力を訴求する多様なイベントを開催したところ、入場者数は増加し、年間総売得金額は、27年ぶりに最高記録を更新いたしました。

東京よみうりカントリークラブでは、より快適なプレー環境の整備のため、7月に乗用カートを新規導入し、プレーヤーから大変好評をいただいております。

遊園地部門の遊園地では、夏期に、映画やテレビなど、様々なメディアでコンテンツを展開するエンタテインメントプロジェクト「HiGH&LOW」とコラボレートしたイベントを開催いたしました。園内全域で開催した同イベントは、多くのファンで賑わいを見せました。また、3月には新アトラクション「ハシビロGO!」をオープンし、遊園地の魅力向上に努めました。しかしながら、10月の台風や冬の寒波などの悪天候の影響を大きく受けました。なお、11月に愛知県以西初の営業拠点となる親子向け屋内遊戯施設「あそびのせかいプライムツリー赤池店」を愛知県日進市に出店し、好調な滑り出しを見せております。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は209億2千1百万円（前期比0.6%減）、営業利益は23億1千5百万円（同9.9%増）、経常利益は、前年度において建設発生土の受け入れが終了したことにより25億6千8百万円（同2.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、26億2千3百万円と、船橋オートレース場に関する特別損益の計上があった前年度と比べ26.1%減となりました。

対処すべき課題

今後のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、政府による各種政策の効果などにより、緩やかに回復していくことが期待されます。一方で、海外の政治及び経済情勢の不透明感などが景気を下押しするリスクとなっております。

このような状況の下、当社グループは積極的に多彩なイベントを開催し、顧客満足度の向上を図ってまいります。

川崎競馬場では、引き続き商業施設「マーケットスクエア川崎イースト」など近隣施設と連携したイベントをはじめ、多数の魅力的なイベントを開催してまいります。小向厩舎においては、強い馬作りを目指した整備計画を検討してまいります。また、来場者に勝馬投票券の購入を促す企画などで、新たな競馬ファンの獲得に努めるとともに、川崎競馬の魅力を訴求してまいります。船橋競馬場では、南関東4競馬場では初となるナイター競馬「ハートビートナイター」の通年開催を実施いたします。これに伴い、場内をイルミネーションで装飾するなど、遊園地で培ったノウハウを生かし、ナイター競馬を盛り上げてまいります。また、隣接する複合型場外発売施設「サテライト船橋・オートレース船橋」とともに、競馬、競輪、オートレースを発売する国内有数のエリアとして、顧客満足度の向上に努めてまいります。

東京よみうりカントリークラブでは、乗用カート導入効果を集客へ繋げるとともに、安全で快適なプレー環境の整備に努めてまいります。法人会員制に移行して40周年を迎えるよみうりゴルフ倶楽部では、記念事業として自主コンペなどを開催し、集客に繋げてまいります。静岡よみうりカントリークラブでは、最新型の乗用カートへの入れ替えを実施するとともに、より高機能なゴルフナビを導入し、さらなるプレー環境の向上に努めてまいります。9月に開場40周年を迎える千葉よみうりカントリークラブでは、第二弾となる記念イベントの開催や施設の改装などを実施いたします。また、引き続きゴルフ4場を一括管理し、接客業務を中心に人材交流をすすめる、顧客サービスの向上に活用するとともに、4場間の顧客紹介の促進などにより、営業面での協力体制を強化してまいります。

遊園地では、ものづくりをテーマとした「グッジョバ!!」や、冬の風物詩であるイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」など、競合他社とは一線を画す特色のあるエンターテインメントを、引き続き提供してまいります。さらに、温浴施設「丘の湯」や親子向け屋内遊戯施設「キドキド」などの周辺施設と連携し、遊園地部門全体で相乗効果を図り、総合的な集客力の強化を目指してまいります。また、「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」や昨年11月にオープンした「あそびのせかいプライムツリー赤池店」では、それぞれの施設の地域の特性にあった営業施策を実施し、顧客満足度の向上に努めてまいります。

今後とも当社グループは、国内でも特色のある総合レジャー・サービス事業会社として、永年に亘り培われたノウハウとブランドイメージに裏打ちされた様々な経営資源に基づき、持続的な企業価値の向上を目指し成長、進化していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

総合レジャー事業 売上高
18,906 百万円

総合レジャー事業全体の売上高は、その他の収入も含め、189億6百万円（前期比0.7%減）、営業利益は30億8千2百万円（同9.4%増）となりました。

川崎競馬は、前期比1日増となる64日開催されました。重賞競走は12月開催の「全日本2歳優駿」、1月開催の川崎競馬最大のレース「川崎記念」などが開催され、両レースとも売得金額においてレースレコードを更新し、盛り上がりを見せました。なお、「全日本2歳優駿」は、アメリカで開催されるケンタッキーダービーの出走馬選定ポイントレースに選定され、これにちなんだ装飾やカクテルの販売などが好評を博しました。施設面では、スタンド観覧席の一部を改装するなど、より快適な観戦環境を提供いたしました。これらの結果、入場者数は3年連続で増加し、年間総売得金額も27年ぶりに最高記録を更新いたしました。なお、川崎競馬場の隣接地に会員制建築資材卸売店舗を建設し、11月より事業会社へ賃貸を開始いたしました。南関東の他場開催（船橋・大井・浦和）の場外発売は前期比1日減となる201日実施されました。JRAの場外発売施設「ウインズ川崎」での発売は前期比3日増となる109日実施されました。これに合わせ、9月の「全国餃子まつりinかわさき」、11月の「かわさきパンマルシェ」など様々なイベントを開催したところ、隣接する商業施設「マーケットスクエア川崎イースト」からの利用客も相まって、多くのお客様で賑わいました。



川崎競馬場「内馬場イベント」の様子

船橋競馬は、前期比2日増となる57日開催されました。ナイター競馬「ハートビートナイター」は3年目を迎え、「マリーンカップ」や「クイーン賞」などの重賞レースにおいて、売得金額のレースレコードを更新するなど盛り上がりを見せました。また、5月にはビッグレース「かしわ記念」が開催され、同日には恒例の「おうまフェス2017」を近隣商業施設とともに主催し好評を博しました。これらの結果、入場者数は増加し、年間総売得金額も27年ぶりに最高記録を更新いたしました。なお、船橋競馬場の隣接地に3つの飲食店舗を建設し、10月より順次、事業会社へ賃貸を開始いたしました。南関東の他場開催（川崎・大井・浦和）の場外発売は前期同様210日実施されました。JRAの場外発売施設「J-PLACE船橋」での発売は前期同様51日実施されました。複合型場外発売施設「サテライト船橋・オートレース船橋」での発売は、サテライト船橋が前期比5日増となる362日、オートレース船橋が前期比5日増となる345日それぞれ実施されました。オートレース選手とのファンミーティングや有料席利用者に進呈するポイントを強化したキャンペーンなど様々なイベントを開催し、好評を博しました。



船橋競馬場「かしわ記念」の様子

以上の結果、公営競技部門の売上高は、57億7百万円（前期比9.9%増）となりました。

東京よみうりカントリークラブは、会員交流競技会の受入れをはじめ、趣向を凝らした自主コンペやスイーツフェスタなどのイベントを積極的に開催いたしました。施設面では、より快適なプレー環境の整備のため、乗用カートの実運用を7月より開始いたしました。これらの結果、入場者数は増加したものの、乗用カート導入によって会員権の名義書き換えの動きが例年より少なくなりました。なお、引き続きチャンピオンコースとしてのコースコンディションを維持し、12月に開催された「ゴルフ日本シリーズJTカップ」では、賞金王争いなどの話題性もあり、盛り上がりを見せました。

よみうりゴルフ倶楽部は、多様な自主コンペの開催や積極的な外部営業を展開したほか、乗用カート導入によって好調な東京よみうりカントリークラブのキャンセル待ちのお客様を東京2場間で連携して受け入れたものの、悪天候の影響を受けた結果、入場者数は減少いたしました。なお、今年もクラブハウスレストランにて遊園地のイベント「ほたる・ねぶたの宵」や「ジュエルミネーション」と連携したディナーイベントを開催し、好評を博しました。

静岡よみうりカントリークラブは、「レディスゴルフフェスタ2017」など女性をターゲットとした施策を継続的に実施いたしました。また、特産品やスイーツなどを賞品としたオープンコンペなどが集客に寄与したものの、悪天候の影響を受けた結果、入場者数は減少いたしました。

千葉よみうりカントリークラブは、2018年9月に迎える開場40周年を記念した企画の第一弾として、男子ロッカー室のリニューアルや、「40歳限定優待」などを実施し、顧客満足度の向上を図ったものの、悪天候の影響を受けた結果、入場者数は減少いたしました。

以上の結果、ゴルフ部門の売上高は、28億9千4百万円（前期比1.5%減）となりました。



「ゴルフ日本シリーズ」Jカップ」の様子

遊園地では、「モノづくり」をコンセプトとして誕生した新エリア「グッジョバ!!」がオープンから2周年を迎え、引き続き人気を誇っております。また、イベントの開催にも力を入れ、夏期には、エンタテインメントプロジェクト「HiGH & LOW」とコラボレートしたイベントや、参加型ずぶぬれイベント「ビッジョバ!!ずぶぬれ大作戦」などを初開催し、多くのお客様で賑わいました。その他、全国のご当地グルメを集めた「全国ご当地大グルメ祭2017」、青森ねぶたを展示したほたる鑑賞イベント「ほたる・ねぶたの宵」、プロジェクトマッピングと現代影絵をコラボレートさせた「光と影のアートマッピング～Shadow Halloween Night～」などの人気イベントも更に磨きをかけて開催し、好評を博しました。そして、世界的照明デザイナー石井幹子氏がプロデュースするイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」は8シーズン目を迎え、首都圏最大級の球数となる550万球で園内を彩りました。今シーズンは、女性をターゲットとした新エリア「スイーツエリア」や、イルミネーションに囲まれたアイススケートリンク「ホワイト・ジュエル」をオープンしたほか、例年人気の噴水ショーでは、高さ12mの巨大なリング型噴水を導入し、迫力のショーを開催いたしました。また、3月には巨大な円盤が回転しながらスイングするアトラクションとしては日本最大級となる「ハシビロGO!」が新規オープンし、好評を博しております。これらの結果、夏期は昨年を上回る入園者数となりましたが、10月の台風や12月以降の寒波などの悪天候の影響を受けた結果、年間を通じた入園者数は減少いたしました。



「HiGH&LOW」イベントの様子

夏のプールWAIは、国産天然水「キリン 晴れと水」とコラボレートしたウォーターゲーム「アクアゲッター」や、今年で8年目を迎えたオリジナルダンスと放水ショーのコラボレーションショー「ダンスプラッシュ!!」、例年人気のおもちゃのアヒルレースのほか、スマートフォンと連動するウォータースライダー「想い出スライダー『メサージュ』」が初登場するなど、エンタテインメントプールとして毎日多数のイベントを開催し、好評を博しました。しかしながら、8月に東京では40年ぶりとなる長雨の影響などもあり、入場者数は減少いたしました。

温浴施設「丘の湯」は、季節ごとのイベントや遊園地のイベントにちなんだ「島根フェア」などが好評を博しましたが、悪天候の影響などにより入場者は減少いたしました。なお、丘の湯プラザの中華レストラン「天安」では遊園地と連携した「ほたる・ねぶたの宵 特別ディナー」や「ジュエルミネーション特別メニュー」などを実施したほか、プラザ内のベーカリーや和菓子店においても同様に遊園地のイベントと連携した商品などを販売し、好評を博しました。

10周年を迎えた温浴施設「季乃彩（ときのいろどり）」は、替わり湯や食事処で季節ごとのメニューを提供したほか、10周年記念イベントなどを開催した結果、悪天候の影響などがあつたものの、入場者数は前年並みに推移いたしました。

ゴルフ練習施設「よみうりゴルフガーデン」は、「スタンププラス1キャンペーン」や「プリカ&カラーボールキャンペーン」などのイベントを開催したものの、悪天候による影響などがあり、入場者数は減少いたしました。

親子向け屋内遊戯施設「キドキドよみうりランド店」は、ウェブ広告や集客用横断幕の掲示などを実施し集客に努めたほか、5周年記念イベントの開催やあそび放題パスの販売などが好評を博した結果、入場者数は増加いたしました。

商業施設「グランツリー武蔵小杉」内の「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」は、3周年記念イベントの開催やあそび放題パスの販売などが好評を博した結果、入場者数は増加いたしました。

11月に愛知県日進市に新規オープンした商業施設「プライムツリー赤池」内に、「あそびのせかいプライムツリー赤池店」を株式会社ポーネランドのフランチャイズ3店舗目として出店いたしました。入場者数は想定を大きく上回り、12月及び1月には全国の「キドキド」で1位の売上高を記録するなど、好調な滑り出しを見せております。

以上の結果、遊園地部門の売上高は、58億6千4百万円（前期比5.3%減）となりました。



アイススケートリンク「ホワイト・ジュエル」の様子

遊園地の入園者が減少したことなどによる減収により、販売部門の売上高は、33億7千5百万円（前期比6.3%減）となりました。

不動産事業

売上高
1,305 百万円

不動産事業の売上高は、賃貸物件の減少などにより、13億5百万円（前期比6.4%減）となり、営業利益は8億2千3百万円（同11.2%減）となりました。

サポートサービス事業

売上高
3,421 百万円

サポートサービス事業の売上高は、外部工事の増加などに伴い、34億2千1百万円（前期比0.2%増）、営業利益は2億2千6百万円（同25.6%減）となりました。

日本最大級のディスクオー！新アトラクション「ハシビロGO！」オープン

2018年3月21日に新アトラクション「ハシビロGO！」がオープンいたしました。巨大な円盤が回転しながら右へ左へスイングする人気アトラクション「ディスクオー」で、40人乗りの超大型サイズは日本初登場となります。アトラクションのモチーフは、愛嬌ある姿と怖い顔のギャップで人気急上昇中の希少な鳥「ハシビロコウ」です。最高到達地点は15.5m、目が回るほどの大回転から生まれる絶叫爽快感をお楽しみください。

〈概要〉

料 金	1回600円 ※ワンデーパス利用可
乗車人数	40人 ※40人乗りのディスクオーは日本初登場
所要時間	約2分30秒
利用制限	身長120センチ以上



新アトラクション「ハシビロGO！」

「あそびのせかいプライムツリー赤池店」オープン

2017年11月24日、愛知県日進市にオープンした商業施設「プライムツリー赤池」内に「あそびのせかいプライムツリー赤池店」を出店いたしました。株式会社ボーネルンドのフランチャイズとしては3店舗目となり、当社としては愛知県以西へ初進出となります。



ドイツ「ジクホルツ社」製の大型木製遊具

店舗内には、ドイツ「ジクホルツ社」製の大型木製遊具が登場し、ボールプールを跨ぐ構成は赤池店オリジナルの要素となります。また、ブロック同士を組み合わせ合わせて床に置いて遊ぶ「イマジネーションプレイグラウンド」は、壁にブロックをはめることのできるキドキド店舗初の仕様となっております。

オープン以降、1日の来場者数が1,000人を超える日も多く、12月及び1月には全国のキドキド売上ランキングで1位を獲得するなど、好調な滑り出しを見せております。



ブロック同士を組み合わせ合わせて遊ぶ「イマジネーションプレイグラウンド」

東京よみうりカントリークラブ 乗用カートの運用開始

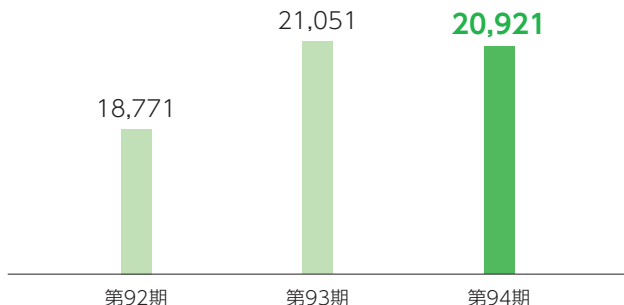
ゴルファーの高齢化や近年の夏の猛暑対策として、2017年7月20日からの試用期間の後、2017年8月1日より乗用カートの運用を正式に開始いたしました。最新のリチウムイオンバッテリーを採用したことで、現行のカートより軽量で馬力があり、プレーヤーから大変好評をいただいております。また、バッテリーの寿命も長く環境にやさしい仕様となっております。



新規導入した乗用カート

■ 売上高 **20,921** 百万円

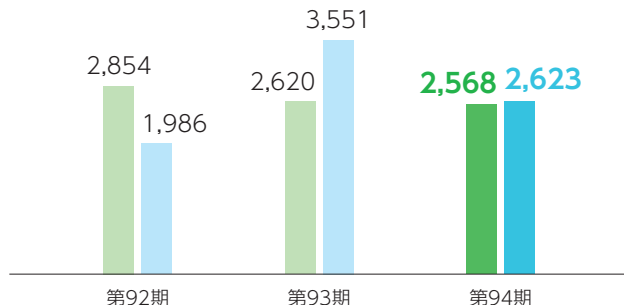
(単位：百万円)



■ 経常利益 **2,568** 百万円

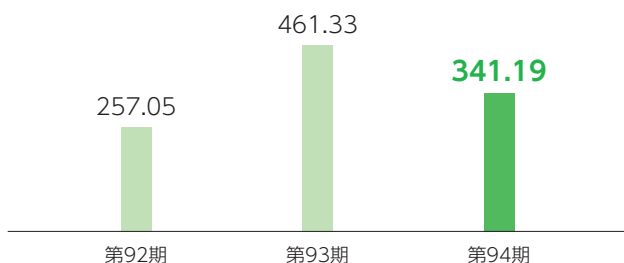
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 **2,623** 百万円

(単位：百万円)



■ 1株当たり当期純利益 **341.19** 円

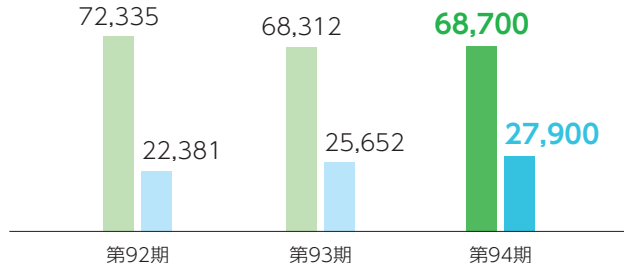
(単位：円)



■ 総資産 **68,700** 百万円

■ 純資産 **27,900** 百万円

(単位：百万円)



(注) 当社は2017年10月1日付で普通株式10株を1株にする株式併合を実施しております。第92期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当連結会計年度末 2018年3月31日現在	前連結会計年度末 2017年3月31日現在
資産の部		
流動資産	8,120	6,358
固定資産	60,579	61,953
有形固定資産	47,787	49,127
無形固定資産	61	66
投資その他の資産	12,730	12,760
資産合計	68,700	68,312
負債の部		
流動負債	6,226	6,183
固定負債	34,573	36,476
負債合計	40,800	42,659
純資産の部		
株主資本	23,643	21,411
資本金	6,053	6,053
資本剰余金	4,730	4,730
利益剰余金	15,143	12,904
自己株式	△2,283	△2,277
その他の包括利益累計額	4,256	4,241
その他有価証券評価差額金	4,259	4,244
繰延ヘッジ損益	△3	△3
純資産合計	27,900	25,652
負債純資産合計	68,700	68,312

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)	前連結会計年度 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)
売上高	20,921	21,051
売上原価	16,649	16,911
売上総利益	4,272	4,140
販売費及び一般管理費	1,956	2,033
営業利益	2,315	2,106
営業外収益	301	582
営業外費用	48	68
経常利益	2,568	2,620
特別利益	1,454	5,018
特別損失	210	2,862
税金等調整前当期純利益	3,812	4,777
法人税、住民税及び事業税	1,165	783
法人税等調整額	24	442
法人税等合計	1,189	1,225
当期純利益	2,623	3,551
親会社株主に帰属する当期純利益	2,623	3,551

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)	前連結会計年度 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,992	9,053
投資活動によるキャッシュ・フロー	△802	△5,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,881	△4,732
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,307	△726
現金及び現金同等物の期首残高	4,293	5,020
現金及び現金同等物の期末残高	5,601	4,293

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要 (2018年3月31日現在)

商号 株式会社よみうりランド
 (英文: YOMIURI LAND CO., LTD.)
 本店所在地 東京都稲城市矢野口4015番地1
 設立 1949年9月24日
 資本金 6,053,030,806円
 企業集団の主要な事業内容 総合レジャー事業
 公営競技部門…競馬、オートレース及び競輪の競技場等の施設運営
 ゴルフ部門…ゴルフ場の経営
 遊園地部門…遊園地、ゴルフ練習場、温浴施設、親子向け屋内遊戯施設等の経営
 販売部門…食堂、売店の経営
 不動産事業
 不動産の売買、賃貸
 サポートサービス事業
 建設業、ゴルフ場管理、ビル管理等

当社の従業員の状況 (2018年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
129名	2名	42歳8ヶ月	16年5ヶ月

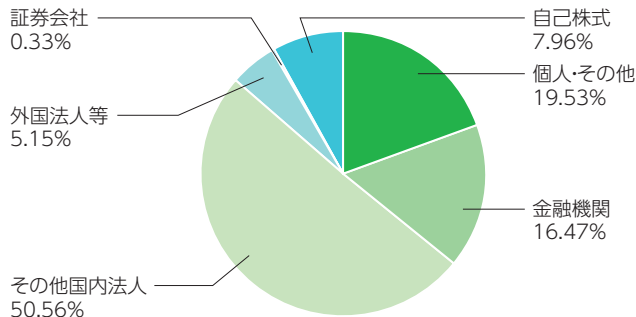
(注) 従業員数は就業人員 (契約社員を除く) であります。

役員 (2018年6月21日現在)

代表取締役社長	杉山美邦
専務取締役	小山興志
常務取締役	中村博典
常務取締役	尾崎和道
常務取締役	小林道高
取締役	浦田和慶
取締役	菊池剛太
取締役	上村武賢
取締役	久米沢尚
社外取締役	加藤好男
社外取締役	大久保好寿
社外取締役	山口利光
常勤監査役	小林邦久
社外監査役	濱野幸治
社外監査役	児玉幸重
社外監査役	岡田明重

発行可能株式総数…………… 29,419,600株
 発行済株式総数…………… 7,687,309株
 (自己株式664,893株を除く)
 当期末株主数…………… 8,911名

所有者別株主比率



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社読売新聞グループ本社	1,250	16.27
日本テレビ放送網株式会社	1,124	14.62
株式会社東京ドーム	582	7.57
三井住友信託銀行株式会社	382	4.97
大成建設株式会社	285	3.71
京王電鉄株式会社	234	3.05
株式会社読売巨人軍	201	2.62
株式会社横浜銀行	163	2.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託)	133	1.73
オリンピック興業株式会社	127	1.66

(注) 1. 上記以外に当社所有の自己株式664千株があります。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

当社では、権利確定日に株主名簿に記録されている株主様を対象として、株主ご優待を実施しております。

権利確定日	9月30日(中間)	3月31日(期末)
発行時期	12月	6月
有効期間	1～6月	7～12月

招待内容

株主ご招待券綴	株主入場パス
1冊の内容	各場共通パス
★遊園地入園 5枚	☆川崎競馬場
★のりものクーポン券引換 1枚 <small>園内で[のりもの4回分]のクーポン券5枚とお引き換えいたします。</small>	☆船橋競馬場
★ゴンドラ乗車 2枚(10回分)	
★プールWAI入場 5枚(※期末発行分のみ)	

発行基準

ご所有株数	株主ご招待券綴	株主入場パス
100株以上	1冊	2枚
500株以上	2冊	3枚
1,000株以上	3冊	5枚
5,000株以上	4冊	5枚

※各招待券は休園日等ご利用いただけない日がございます。注意事項と合わせて詳細につきましては、同封の「株主招待券贈呈のご案内」をご参照ください。

※プールWAI入場につきましては、期末発行分のみとなります。

事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日

株主名簿管理人及び

特別口座の口座管理機関

郵便物送付先

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告の方法

電子公告により行います。なお、以下のホームページアドレスにてご覧いただけます。

<http://www.yomiuriland.co.jp/ir/index.html>

ただし、事故その他、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する読売新聞に掲載して行います。

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について

配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

単元株式数の変更および株式併合に関するお知らせ

当社は、2017年10月1日を効力発生日として、単元株式数の変更および株式併合を行いました。これに伴い、株主優待制度の対象についても変更させていただきます。なお、株主様におかれましては、特に必要なお手続きはございません。

- ◆単元株式数の変更 株主総会の議決権の単位であり、証券取引所におけるの売買単位である単元株式数を、1,000株から100株に変更いたしました。
- ◆株式併合 当社の株式について、10株を1株の割合で併合いたしました。1株未満の端数株式が生じた株主様に対しましては、当社がこれを一括して処分し、第94期中間配当金と同時に、その処分代金を端数株式数に応じてお支払いいたします。
- ◆株主優待制度について 従来は、権利確定日において1,000株以上保有する株主様を株主優待制度の対象としておりましたが、第94期期末（2018年3月31日）より、100株以上保有する株主様が対象となります。

Topics

7月14日（土）から期間限定「ナイトプール」復活 （※プールWAI営業期間は6月30日（土）～9月9日（日））

今シーズンのプールWAIは、波のプールやスイミングプール、各種スライダーにて「ナイトプール」を復活いたします。プールのライトアップやヤシの木のイルミネーション演出のほか、ナイトプール期間中に開催される「プレミアムビアガーデン」の営業など、南国リゾートの雰囲気味わえるプールサイドで大人の時間を満喫してください。

□ナイトプール開催概要

- <期間>：7月14日（土）～7月29日（日）の土日祝、
8月3日（金）～9月2日（日）の金土日、
8月13日（月）～16日（木）※計26日間
- <時間>：18:00～21:00
※スイミングプールは20:40まで
- <料金>：おとな1,500円
こども（3歳～高校生）1,000円
シルバー（65歳以上）1,000円



株式会社よみうりランド

〒206-8566

東京都稲城市矢野口4015番地1

TEL 044-966-1131（総務部総務課）



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。